


各教育関係者様


 横浜国立大学教育学部附属横浜中学校 平成 29 年度 研究発表会のご案内(二次)

研究主題：新しい時代に必要となる資質・能力の育成への試みⅢ ～学びをつなぐ・ひらく カリキュラム・デザイン～

本校では平成 27 年度から今年度までの 3 年間、新学習指導要領の改訂を推進した中央教育審議会教育課程部会における議論の動向を見据えながら、『新しい時代に必要となる資質・能力の育成への試み』を主題とする研究に取り組んできました。昨年度の研究では、「資質・能力」の育成のためには、単元全体を見渡した授業構想や、生徒の実態に即して授業計画を改善することの必要性が明らかになりました。これをふまえて、今年度は研究副主題を「学びをつなぐ・ひらく カリキュラム・デザイン」と定め、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、生徒たちの学びの経験が有機的に関連付いていくための単元構想について提案いたします。

この提案をふまえて、文部科学省教科調査官、指導主事、共同研究者の先生方のお考えを伺いながら、生徒たちの思考の広がりや教科を通して、また教科間の連携を通してどう受け止めていけばよいか、ご参会の皆様とともに議論していきたいと存じます。

なお本校は今年度、文部科学省生涯学習政策局から委託を受け、本学横浜国立大学教育学部と連携して「次世代の教育情報化推進事業（情報活用能力の育成等に関する実践的調査研究）」に取り組んでいます。その実践の成果につきましては、研究協議会において報告させていただき、講演内容とつなげたいと考えています。

以上、本年度研究発表会の趣旨をお知らせするとともに、多くの方々のご参会とご指導・ご助言いただきたくご案内申し上げます。

横浜国立大学教育学部附属横浜中学校長 中嶋俊夫

- 1 主催 横浜国立大学教育学部附属横浜中学校
- 2 日程 平成 30 年 2 月 23 日(金) 10:00～16:10 国語, 音楽, 美術, 保健体育, 家庭, 英語, (ICT)
平成 30 年 2 月 24 日(土) 10:00～16:10 社会, 数学, 理科, 技術, (ICT)

9:00～ 受付	10:00～10:50 公開授業	移 動	11:00～(11:30) 生徒による 授業評価等	昼食 休憩	12:30～12:50 校長挨拶・ 基調提案 (両日同内容)	12:50～16:10 研究協議・ 講演等
教科分科会ごとに行います。途中休憩をとります。						

※ICTに特化した授業公開はいたしません。各授業では必要に応じてICTを使用いたします。ICTに関心をお持ちの方は、午後のICT分科会にご参加ください。23日(金)は本校の実践報告、24日(土)は実践報告及び講演会を行います。終了後は他分科会の講演等にご参加ください。

※ 昼食はご持参いただくか、学校前の弘明寺商店街などをご利用ください。お弁当の販売もいたします。

3 助言及び講演の先生方

国語	文部科学省教科調査官 杉本 直美 先生	音楽	文部科学省教科調査官 臼井 学 先生	技術	文部科学省教科調査官 上野 耕史 先生
社会	文部科学省教科調査官 濱野 清 先生	美術	文部科学省教科調査官 東良 雅人 先生	家庭	文部科学省教科調査官 筒井 恭子 先生
数学	文部科学省教科調査官 水谷 尚人 先生	保健 体育	横浜国立大学教育学部教授 元文部科学省中央教育審議会委員 高橋 和子 先生	英語	文部科学省視学官 平木 裕 先生
理科	文部科学省教科調査官 遠山 一郎 先生		川崎市教育委員会指導主事 中野 正明 先生		

4 各教科の研究テーマ・公開授業コンセプト・共同研究者 一覧

【1日目：23日(金)】

教科等	各教科の研究テーマ 公開授業 学年	提案コンセプトや 授業の見所、単元・題材など	担 当 ◇授業者	共同研究者 (横浜国立大学)
国語	○「ことば」への認識を育むカリキュラム・デザイン 公開授業 2年	「読むこと」の学習において、他教科における学びとのつながりを意識しながら、「情報」を比較・検討することを通して、メディアリテラシーを育成する授業を提案します。	◇伊藤 翔行 高橋 あずみ	教授 高木 まさき 先生 准教授 石田 喜美 先生
音楽	○音楽の魅力に自らがひらかれる授業のカリキュラム・デザイン 公開授業 2年	「創作」へ取り組むことによって育つ子供の力を見取り、それを育成し、その先で豊かに音楽と関わることを体験的に考えていく授業を提案します。	◇平石 孝太	准教授 島田 広 先生
美術	○美術を通して生活や社会とつながるための学びの構想 公開授業 2年	一人一人の生徒が自分との関わりの中で美術を捉え、主体的に取り組めるよう、端材を使った木工品の制作を通して、地域ブランドを生み出すことを探究課題としました。生活の中に潜む美に目を向けることで、人ともとのよりよい関係を造形的な視点を基に考えます。	◇飯田 哲昭	准教授 小池 研二 先生
保健体育	○協働的な学び合いの中で学びをつなぐカリキュラム・デザイン 公開授業 1年	1年生「バスケットボール」において、主体的・協働的な学び合いの中で、習得した知識・技能を「個」から「集団」へとつなげ、チームの課題解決に向けて工夫して取り組むカリキュラム・デザインを提案します。	◇和田 真紀 中山 淳一郎	教授 梅澤 秋久 先生
家庭	○日常生活につながる学びを通して、社会にひらくカリキュラムの構想 公開授業 1年	「C衣生活・住生活の自立」の(2)住居の機能と住まい方において、日常生活につながる学びを踏まえて、社会にひらく授業を提案します。高齢者が安全で充実した老後を過ごすための住まいと地域について、考える授業を行います。	◇池岡 有紀	教授 堀内 かおる 先生
英語	○継続的な授業改善を通して実践的コミュニケーション能力を育むカリキュラム構想 公開授業 1年	1年次既習事項を活用して、感情表現と行動が統合されたドラマ活動を行います。体験と言語をつなぎ、場面や状況に応じて情報を整理しながら考え表現する姿を目指します。その活動の振り返りから学ぶ授業を提案します。	◇武田 美樹 田前 千春 稲田 謙	教授 満尾 貞行 先生
I C T		・本校の授業実践報告 ※授業実践は行いません。	(提案者) 林 達郎	

【2日目：24日(土)】

教科等	各教科の研究テーマ 公開授業 学年	提案コンセプトや 授業の見所、単元・題材など	担 当 ◇授業者	共同研究者 (横浜国立大学)
社会	○社会的な見方・考え方の質的な向上を目指した単元、授業のデザイン 公開授業 2年	地理的分野における日本の諸地域「関東地方」について、人口や都市・村落を中核とした考察を行います。農村体験学習で訪れた長野県上田市武石地区の学習と校外学習で企業訪問を事例として、人口減少社会の解決へ向けて、既習事項を踏まえながら具体的な提案内容を考える授業です。	◇田川 雄三 土谷 満	教授 重松 克也 先生
数学	○協働的な数学的活動を通して、数学的な見方・考え方(物事を論理的に考察する力)を育むカリキュラムの構想 公開授業 2年	2年生「B 図形」領域において、数学的な見方・考え方を働かせながら図形の性質を探究していく活動を通して、物事を論理的に考察する力の育成を目指す授業を提案します。	◇吉田 大助 池田 純 関野 真	教授 池田 敏和 先生
理科	○科学的な概念の構築と科学的な探究の能力の育成を目指すカリキュラム・デザイン 公開授業 1年	1年生「身の回りの現象」において、学びを「つなぐ・ひらく」ことを通して、理科の見方・考え方を働かせながら科学的な概念を構築させ、科学的な探究の能力を育成するカリキュラム・デザインを提案します。	◇田中 明夫 ◇神谷 紘祥	教授 加藤 圭司 先生
技術	○日常生活につながる学びを通して、社会にひらくカリキュラムの構想 公開授業 1年	1年生「A材料と加工に関する技術」において、社会や自分自身の学びとつなぎ、技術の見方・考え方を働かせながら、これからの加工技術の在り方について考えていく授業を行います。	◇佐々木 恵太	准教授 鬼藤 明仁 先生
I C T	/	・本校の授業実践報告および講演会 ※授業実践は行いません。	(提案者) 林 達 郎	教授 野中 陽一 先生

